

会議録

会議の名称	平成25年度西東京市立学校統合協議会（第2回会議）
開催日時	平成26年2月18日（火曜日） 午前10時から午前11時09分まで
開催場所	防災センター6階 講座室2
出席者	委員：赤松富子、片山奈穂、菅家淳子、門馬晶子、田崎吉則、中村知子、佐藤尚美、渡辺好美、真鍋五十鈴、高柳徹、野口悦子、内橋勝利、高橋宏美、保谷征男、小嶋弘、井上直美、幸内悦夫、大堀猛、高野富、諸岡 浩 事務局：櫻井勉（教育部長）、坂本眞実（教育企画課長）、早川礼成（教育企画課長補佐(企画調整係)）、岡本範子（教育部副主幹(企画調整係)）、福井光（教育部教育企画課企画調整係主事）、中村幸雄（教育部教育企画課学務係長）
傍聴者	1人
議題	1 開会 2 会議録の確認 3 平成27年度からの通学区域について 4 その他 5 閉会
会議資料の名称	資料1 平成25年度西東京市立学校統合協議会（第1回会議）会議録(案) 資料2 アンケート調査の集計結果
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>開会</p> <p>○事務局： 統合協議会の位置付け・任期について説明させていただく。本統合協議会は周知期間が必要なため通学区域について協議させていただく。来年度、新たに別の組織を立ち上げて校名・校章等について協議していただく予定である。</p> <p>○委員： 通学区域はこの会議で決定するのか。</p> <p>○事務局： この会議の議論を尊重させていただき、教育委員会で決定させていただく。</p> <p>○委員： 教育委員会の決定はいつ頃か。</p>	

○事務局：

この統合協議会の結論を提言として教育長に提出し、教育長が提言を教育委員会で報告をする。その後、教育委員会で規則改正を行い、可決した段階で決定となる。

議題2 会議録の確認

○座長：

前回第1回の会議録(案)について事前に送付しているが、訂正すべき箇所などがあれば発言願いたい。

○委員：

(異議なし)

○座長：

何もないようなので正式な会議録とする。

議題3 平成27年度からの通学区域について

○座長：

第1回会議において何点か質問をいただいたので、事務局より回答をお願いしたい。

○事務局：

学童については、現在、児童青少年課で検討を進めているので、質問等があれば直接問合せいただきたい。谷戸二小のエリアの開発について、都市計画課に確認したところ、大きな開発は予定されていないとのこと。また、アンケートの中での意見で、教室が足りない場合は増築をすべきとあったが、増築について、教育委員会では考えていない。学校選択制度・指定校変更制度以外の特別措置についても考えていない。

○座長：

引き続きアンケートの集計結果の説明をお願いしたい。

○事務局：

資料2に基づき説明。

○座長：

何か質問・意見等はあるか。

○委員：

資料2の中で、「大幅な児童数の増加は、施設的に限界であり、1、2案は不可能」という意見があるが、これが本当だとしたら、教育委員会は増築を考えていないとのことだったので、検討をする意味がないのではないか。

○事務局：

我々の試算では1、2案でも受入可能と考えている。

○委員：

数字的にはそうかもしれないが、仮に20学級となった場合、会議室や視聴覚室だけでなく少人数教室やランチルーム、PTA室兼教材室がなくなり、そこにあるものをどうするのか、少人数で学習する場合はどうなるか等問題があり解決策が見えない。少なくとも1案は学校の現状が見えていないと思わざるを得ない。2案ならば18学級で収まるとの事務局の話聞いたので可能だと考える。2・3案で収めていただければと思う。

○委員：

この統合については保護者の一部の方しか理解していない状況である。そのような中で、急に教室数がなくなったりしないようにするため、少しでも余裕があるようにしていきたい。転校生が多い地域でもあるため、純粋に少なくしていただきたい。

○座長：

1から3案の中ではどれが良いと思うのか。

○委員：

そういう意味では、人数が少ないほうが良いと思うので3案である。

○座長：

今、2か3案かという話があるが、いかがであるか。

○委員：

谷戸二小の規模の資料はあるのか。

○事務局：

人数の資料については第1回会議において配布している。

○委員：

施設の規模が分かる資料はないのか。

○事務局：

今回、提示しているどの案も谷戸二小、保谷小、住吉小いずれも現有施設で収まるものだと確認をしている。そのため、そういった資料がなくても議論いただけてと考えている。

○委員：

私は2案を選んだ。泉小の在校生を全部引き受ける気持ちであるため、住吉小の人数が増えることに何ら問題はない。ただ、ここで確認しておきたいのは、今話し合っていることは泉小、住吉小だけの問題でないということである。平成27年4月以降に入学してくるお子さんたちをどうするかということなので、3校でどう分けていくかという話である。現実の状況をふまえた2案が、泉小保護者や子どもたちの気持ちを大事にしている案であると思う。統合校だから住吉小に児童を多くするという話ではないと思

う。

○委員：

私も2案を推している。人数的には谷戸二小の将来的のことを考えると3案という話があったが、この資料の数値が変動するという可能性がある。学校選択制度で数値が変動することもあるため、現状に即した2案が良いと思っている。

○委員：

谷戸二小の方が3案とおっしゃっているが、人数的に2・3案はほとんど変わらないと思う。どの辺りを心配されているのか。

○委員：

児童数というより、それに基づく学級数が心配である。2案より3案の方が児童数的に若干少なくなるため、学級数が減じられる可能性が高まるからである。

○委員：

私は1案を選択したが、谷戸二小の偏重を避けるため、1案の泉町1丁目を保谷小学区にするというのはいかがでしょうか。通学路の安全面の向上も見込まれ、バランスが良いのではないかと。ただ、これまでの他の委員がお話してきた2案、3案についても、それぞれの意図は理解できる。

○座長：

タイムテーブル的に新たな案というのは難しいところがある。1案から3案ではどれが良いと思うか。

○委員：

純粹に1案から3案と言われると難しいが、バランスを考えると3案が良いのではないかと。

○委員：

住所で分けると管理がしやすいと考えたため、当初は1案を推していた。しかしながら、やはり就学状況等を重視した方が良いと考え、2案に変更させていただく。

○委員：

これまで出てきた考え方について整理すると、安全面、学校のキャパシティの面、平成27年度までの問題とそれ以降の問題について、という視点がある。今回、通学区域の線引きをすればはらくは変わらないと思われるため、長期的な視点で考える必要がある。どの案をとっても100パーセントに満足することはないかもしれないが、多角的に考えて調和の取れた案にしたい。これというのではないが、皆さんの意見を聞いた限りでは2案が中心にいるような感がある。

○委員：

私はアンケートの中では1案を選択したが、話を聞いた限りではそれだと応えきれな

い実情があると思い、3案が良いのかなと感じた。事務局には学級数などの推移が分かる資料を出していただきたかった。また、移動希望調査を早急にできればと考える。

○委員：

私は最初に分かりやすいということで1案を推していたが、谷戸二小の話等を聞く限り、2案か3案と考える。そして、今の通学方法によって今後が選ばれると思い、現在の就学状況に即した2案がより現実的に良いのではないかと思う。個別の道路の関係については交通擁護員を立てる等で配慮いただければと思う。

○座長：

当初は1案で考えていたが、他の委員がおっしゃられていたように、蓋を開くと学校選択制度等で分かれていって結果的に2案のような形になってしまうと思い、現実を考えると2案ではないかと考えた。安全面等について、教育委員会で考えていただきたい。

○委員：

中学校の通学区域は今後どのようなようになるのか。

○事務局：

小学校の通学区域を基に中学校の通学区域を決めているのではない。小学校の数と中学校の数は違うので、この小学校だからこの中学校とイコールにすることはできない。中学校の通学区域はこの見直しによって変更することはない。現在別途検討しているひばりが丘中学校がUR跡地に移る段階で見直すことになる。

○座長：

結論を出したいと思う。皆さんの意見を総合すると、2案が良いのではないかと思うが、いかがか。

○委員：

(異議なし)

○座長：

異議なしとのことなので、そのようにさせていただく。

議題4 その他

○座長：

事務局より今後の流れについて説明をお願いします。

○事務局：

今回、2案ということで結論を出していただいたので、それを提言という形で教育長に提出する。教育長は提言を教育委員会に報告する。そして、教育委員会で通学区域の規則改正の議案を提出し、決定を諮る。その後、通学区域変更の説明会を夏頃のタイミングに実施し、平成27年4月の入学に向けて準備を進めていく。

○座長：

本日の会議録の扱いについて事務局より説明をお願いします。

○事務局：

第2回会議の会議録については、案を各委員に郵送させていただき確認をもらった上で、最終的に座長一任とさせていただきたい。

○座長：

事務局より会議録の取扱いについて説明があったが、このとおりで宜しいか。

○委員：

(異議なし)

○座長：

異議無いようなので、そのようにさせていただく。

○委員：

来年度の統合協議会の方針について、どのようにお考えか。

○事務局：

来年度については、まず3月の議会で予算を提案し、議論の中で平成26年度の方向性を決めていく。現段階ではっきりとしたことを申し上げられない状況だが、泉小に今在籍している児童の負担を最小限に抑えられるような形で統合できればと考えており、来年度の統合協議会についてもそのようなことが議論できるようにしていきたい。

○座長：

以上で会議を終わりにする。2回の会議ではあったが、地域の方達が熱い想いで活動されているということ強く感じた。学校の職員にもこのことを伝えていきたい。

閉会